

入試情報

※平成28年度の実施内容が公開されていないため、平成27年度の実施内容より抜粋しております。

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<p>■学力検査:</p> <p>3/5-6</p>	2/10、12-13	3/10	<p>3年生の成績から算出</p> <p>5段階評価×9教科=45点</p> <p>※授業態度、特記事項も記載</p>

教育のプロ
トライさん



傾向

5教科100点ずつ(各60分)。

1日目…国語・英語・数学、2日目…社会・理科の順で学力検査を実施。

量はそれほど多くないものの、その分難易度が高い傾向にある。

各教科の各単元が、バランス良く出題される。

他県の入試に比べて内申点の配点は高くはないが、合否判定の参考には用いられる。

科目別対策

英 語

大問4問で構成。長文読解・リスニング・英作文が出題される。長文では、文法知識や、英問英答、和訳が出題される。和訳が苦手な場合は、教科書レベルの英文を全て和訳し、苦手な文法や単語を見極めたうえで対策しよう。英作文では、条件英作文が出題されるので、例文を暗記し、簡単な英語で書きかえる練習をしておこう。リスニングは英問英答、穴埋め問題が出題。専用に対策しておくこと。

数 学

大問6問で構成。計算・方程式・関数・図形は頻出で、かつ各単元との融合問題も出る。計算・方程式では、多くの問題をこなし、解法パターンを暗記しよう。何度も練習してミスなく解けるようにすること。関数では、グラフの求め方や式の書き方をマスターしておくこと。図形では、証明や面積の問題が出題されやすいので十分に対策しよう。確率は樹形図を書くなど、地道に解く方法が堅実。

国 語

文章読解・漢字や国語知識・古典・作文が出題される。文章読解では、内容や文脈把握の出題が多い。記述問題では、字数の多い問題が出題されるので、文章の趣旨を早く正確に読み取る練習や、文章を要約する練習をしておこう。古典では、内容を正確に把握しておきたい。また、単語・文法の対策はとても重要。作文問題では、書きたい内容を箇条書きにしてから書く方法がおすすめです。

理 科

物理・化学・生物・地学が万遍なく出題される。問題集を使って、幅広く知識を定着させること。具体的には、運動分野は用語・公式の暗記を、電流分野は計算を中心に学習しよう。気体・状態変化・化学変化は用語・記述・計算と出題パターンが多岐にわたるので、過去問をよく見直そう。生物分野は植物・動物のつくりを理解すること。地震や天気の単元も、自分で説明できるよう知識を覚えよう。

社 会

大問5問で構成。地理・歴史・公民の複数分野から出題される大問もある。歴史は、「流れをつかむ」ことから始め、各時代の出来事→政治→文化→外交の順で学習しよう。地理は国名・県名を覚えた後、工業地帯・生産物を関連付けて暗記。政治は、基本的知識に加えて、ニュースと関連させて政治の仕組みを説明できるようにしておくこと。経済は、知識量が問われるので、しっかり対策しときたい。